

サステナビリティ目標に対するKPIと実績

マテリアリティ（重要課題）	取り組み内容	KPI	2024年目標	2024年実績	2024年目標達成	2025年目標
地球環境を犠牲にすることのない企業活動	開発、調達、生産等、社内における全ての活動における環境負荷の低減	①CO2排出量 2018年比削減率（スコープ1、2）	3%	9%	○	10%
	小型、軽量、省エネルギーを実現する製品の開発及び販売拡大	②サステナブルプロダクツ及びサステナブルプロダクツ・プレミアムの売上高成長率（2023年比）	+20%	+29%	○	+30%
豊かな社会と人々の快適な生活を実現するものづくり	「健康機器、医療機器用途」及び「自動車の安全性向上（シートベルトプリテンショナー、パーキングブレーキ、光軸調整、ハブティック等）環境性能向上（バルブ、グリルシャッター）に資するモーター」の販売拡大	③SDGsに貢献する用途の売上高成長率（2023年比） 対象：健康・医療用途、及び自動車の安全性向上・環境性能向上に資する製品	+5%	+16%	○	+12%
すべての人が活躍できる環境の実現	日本及び世界各地の拠点における女性経営者及び管理職の育成・登用	④女性管理職比率	17%	17%	○	17.5%
	グローバル勤務（自拠点から他国拠点への出向、トレーニー派遣）の推進	⑤グローバル勤務経験者数(累計)	457名	457名	○	485名
	次世代を担う子供たちが科学への関心を深める機会の提供	⑥子ども向け工作教室・出前授業等の参加者数（2024年からの累計）	700名	1,399名	○	1,800名
社会的責任の遂行	労災事故の防止対策、オフィスや工場における労働環境の整備、ワークライフバランスの促進	⑦労働災害度数率(100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数)	0.14以下	0.144	× (※)	0.14以下
	人権デュー・ディリジェンスのプロセスを実施・継続し、サプライチェーン全体での人権尊重の取り組みを強化	⑧人権上の重大リスク件数	0件	0件	○	0件

※安全教育の徹底、オフィスや工場における労働環境の整備を行い、労災事故の防止対策を推進いたします。